

授業科目	教職実践演習（中・高）				単位	2		
履 修	選択	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU44120J		
開講年次	4	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-2			
担当教員	木村 政伸、杉谷 修一、一期崎 直美、塚本 美紀、西丸 月美、太田 かおり、永原 真奈見、浜谷 小百合、西原 真弓							
授業概要	この演習は、これまでの教職課程での学びと教育実習を振り返りながら、教師としての使命感、保護者や地域社会への責任、信頼される学校づくりなどの課題について総合的な理解を深めることで実践力をさらに伸ばす機会となることを意図している。また、教育対象である生徒理解の方法や教師としての専門性を高めるためのリソース活用法などの各テーマについて、グループ学習や討議・発表などの演習形式に沿って学習し教師としての実践的スキルと資質・能力の向上を目指す。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ることができる。</li> <li>2. 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすことができる。</li> <li>3. 信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ることができる。</li> <li>4. 生徒理解に基づいた教育活動を展開することができる。</li> <li>5. 授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすことができる。</li> <li>6. 教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用することができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	20	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			20				20	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			40				40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						20	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)				20			20	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
下記のことを、高いレベルで遂行することができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ること。</li> <li>2. 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすこと。</li> <li>3. 信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ること。</li> <li>4. 生徒理解に基づいた教育活動を展開すること。</li> <li>5. 授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすこと。</li> <li>6. 教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用する</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ることができる。</li> <li>2. 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすことができる。</li> <li>3. 信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ることができる。</li> <li>4. 生徒理解に基づいた教育活動を展開することができる。</li> <li>5. 授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすことができる。</li> <li>6. 教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用する</li> </ol>				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: イントロダクション(全員) これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。	講義 演習(GW)	演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。	60
2	テーマ: 教育実習の振り返り(一期崎直美、木村政伸) 教育実習に参加して明らかになった課題について討議し課題を明確にする。	演習(GW)	予習: 授業準備を行う。	60
3	テーマ: 家庭や地域、関係機関との連携(外部講師、一期崎直美、木村政伸) 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について学ぶ。	講義	復習: 講義内容を振り返りレポートを作成する。	60
4	テーマ: 教師にとっての使命感(杉谷修一) 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループで討議を行うことを通じ、教師の使命感を涵養する。	演習(GW)	復習: 授業内容の定着を図る	60
5	テーマ: 教科指導方法の工夫(1)(一期崎直美、木村政伸) 課題解決に向けて、調査した結果を発表する。	演習(発表)	予習: 授業の準備を行う。	60
6	テーマ: 教科指導方法の工夫(2)(一期崎直美、木村政伸) 課題解決に向けて、調査した結果を発表する。	演習(発表)	予習: 授業の準備を行う。	60
7	テーマ: 他職種との連携(一期崎直美、木村政伸) 他職種連携に向けて、他職種に向けて発表し、連携を図るために討議する。	演習(発表・討議)	予習: 発表の準備を行う。 復習: 演習を振り返る。	60
8	テーマ: リソースの活用(一期崎直美、木村政伸) 求められる専門性を高めるためにリソースの活用法について討議する。	講義 演習(討議)	復習: 授業を振り返る。	60
9	テーマ: 課題解決に向けての模擬授業(1)(一期崎直美、木村政伸) 教科指導方法の課題を改善し、模擬授業を展開する。	演習(発表・討議)	予習: 授業の準備を行う。	60
10	テーマ: 課題解決に向けての模擬授業(2)(一期崎直美、木村政伸) 教科指導方法の課題を改善し、模擬授業を展開する。	演習(発表・討議)	予習: 授業の準備を行う。	60
11	テーマ: 模擬授業(1)(一期崎直美、木村政伸) 他教科の模擬授業に参加したり、看護教育の模擬授業を展開したりする。	演習(模擬授業・討議)	予習: 授業の準備を行う。	60
12	テーマ: リソースの活用(一期崎直美、木村政伸) 教師に求められる専門性を高めるためのリソースの活用法について討議する。	演習(模擬授業・討議)	復習: 授業を振り返る。	60
13	テーマ: 特別支援学校における教師の役割について(外部講師・一期崎直美) 障害を抱える子どもへの対応や学校の取組みについて学ぶ。	講義	復習: 講義内容を振り返りレポートを作成する。	60
14	テーマ: 資質・能力の向上に向けた課題の確認(全員) 教師として求められる資質・能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について整理する。	演習(GW)	復習: 講義内容を踏まえ、発表を準備する。	60
15	テーマ: まとめ(全員)	演習(発表・討議)	復習: 発表を振り返る。	60

	前回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。			
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	教職課程で学んできたことを前提に総まとめとしての演習を行う。			
テキスト	教科書を用いない。教員が適宜に資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	履修カルテ、教育実習記録簿、その他、授業の中で具体的に指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この演習は、教職課程の最終段階として、これまでの全ての学習や活動の総点検をしながら、実践的スキルや能力の向上を目指すものです。これからの教師に必要な資質能力や知識技術について、自己の課題をみつめながらその解決につながるよう積極的に学びを深めましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	演習及び講話後に作成した課題やレポートで主に評価します。発表(模擬授業やプレゼンテーション)について評価します。その他、授業における積極性や貢献度、提出物の提出状況などで評価します。レポートや発表は、全体に対してコメントします。個人が実施した模擬授業については、必要に応じて個人に対してもコメントします。			

